

ユーザ行動に着目した通信ネットワークの設計



株式会社KDDI研究所 ネットワーク設計グループ グループリーダー
中村 元

E-mail nakamura@kddilabs.jp

URL <http://www.kddilabs.jp/>

1. 通信環境のユビキタス化や通信放送の連携により、震災や各種イベントを契機として通信トラヒックが一斉に大量発生する事象が増加している。
2. トラヒック発生の際の時間的な集中度は高まり、「分」から「秒」の短い時間オーダーで観測されつつある。
3. こうした短時間におけるトラヒックの生成過程では、通信サービスの市場性やユーザの嗜好に加えて、人の認知活動による影響が増大する傾向にある。
4. 本講演は、トラヒックの集中発生を対象に、認知科学の分野で用いられるメンタルモデルとの関わりについて考察する。
5. 更に、通信放送連携による輻輳制御システムの事例を基に、今後のネットワーク設計の方向性について概説する。

